

第2部：事例報告（大阪府内行財政改革の取り組み）及び意見交換



「第2部 開会にあたって」

齊藤 慎氏

(おおさか市町村職員研修研究センター所長、
大阪大学大学院経済学研究科教授)

冒頭に、第2部の全体像の説明をごく簡単にさせていただきます。第1部では三橋様より「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」について詳しいご説明をいただき、効率的・効果的なサービスをどう選択するか、あるいは負担の在り方をどう考えるかということが健全化との関連で大変重要だというご指摘をいただきました。市町村の財政状況は総じて厳しいものと理解しておりますが、何とかしてこの法律で定められている四つの指標をクリアする必要があると考えています。

そこで第2部では、大阪府内の行財政改革に関する事例報告を2団体、寝屋川、池田市よりそれぞれお話しいただくことにしております。本日はお忙しいところ、事例報告を引き受けていただきました寝屋川市の前川様と池田市の白水様には、よろしく申し上げます。本日の資料を事前に拝見したのですが、両市とも大変興味深い試み、実践をされておまして、本日、会場へお越しの皆さまにも良き参考としていただけるものと期待をしています。マッセOSAKAとしては、今後とも各地域におけるグッドプラクティス、ベストプラクティスを紹介し、行財政運営の参考にしていただければと考えております。

また、それぞれ30分程度の事例報告をしていただいた後に、引き続き、今、壇上におります4名で意見交換を50分程度行いたいと考えております。また、その50分の中で会場からのご質問もいただけるように設定をしておりますので、会場からの積極的な参加をよろしく申し上げます。